

箇所	会議名	意見	対応等
1 みんなが安心して暮らせるまちづくり			
資料1 -P1	市民会議 (第6回会議以降の意見)	<p>私は、福祉保健分野に関しては、特に市民の「自助・自制・共助」意識が不可欠と考えます。 理由は、上記意識が不足したまま「公助としての福祉保険行政」を推進した場合、莫大な予算と人材を必要とする結果、絵に描いたもちで終わると予想するからです。 だから、福祉保健分野においては「市民協働的フレーズ」が不可欠と考えます。 更に、市民協働分野と重なることになっても、福祉保健分野では「自助・自制」が「共助」以上に重要であるにもかかわらず、「市民協働的フレーズ」を外すとによって、「自助・自制」までもが後退してしまう危険があります。</p> <p>以上の理由から次の提案をいたします。</p> <p>1 福祉保健分野の調整案を修正してください。 修正提案： ①自助・共助を活かした健康づくりの推進 ②自助・共助を活かした自立支援体制の充実 ③自助・自制・共助を活かした医療体制の充実</p> <p>具体的には、市立病院受診制限が、正に③の典型事例と考えます。 仮に、市役所修正案にのっとると、「受診制限の無い医療体制実現」となってしまうのですが、それでもよろしいのでしょうか？ このような「自助・自制・共助」提案が市民から寄せられたのであれば、「公助」偏重の市民でもおおいそれと反論できないと考えます。</p>	<p>ご意見のとおり、健康づくりにおいては一人ひとりの健康感、健康意識が大切ですし、地域における医療体制を維持していくためには、市民の理解と協力が不可欠ですので、市民との協働がキーワードとなっているのは事実であります。</p> <p>したがって、施策名に入れることで、住民にとって分かりやすくなることは確かですが、市民と協働で行う他の施策と比較するなかで、本当に施策名に入れなければならないフレーズかどうか、今後、具体的に事業の検討をしていく中で市民との協働の視点を強調すれば、決して行政任せになる心配はないと考えます。</p> <p>なお、自立支援体制につきましては、福祉における自立が、介助などの支援を得た上で自ら選択し、自己決定できる生活であることを前提としておりますので、自助も必要ではあります。福祉サイドの支援に視点を置いてもいいのではないかと考えます。</p> <p>委員のご提案は、誠に有り難いと思ひますし、公助としての行政への深い理解に感謝申し上げます。一方、総合計画の推進の背景として、「市民と行政がともに創る」といった意識を前提としておりますので、「市民協働的フレーズ」がなくても、市民の自助、共助は担保されるものとご理解いただきたいと思います。</p>
資料1 -P1	市民会議 (第6回会議以降の意見)	<p>私は施策の対象の中に庁内会議案にある福祉保健団体を入れるべきであると考えます。</p>	<p>福祉保健団体を施策の対象から外したわけではなく、「地域」の中にも含まれるものとした。なお、「地域」の中には、自治会、同好会、スポーツ団体、老人会のほか民生児童委員や保護司会などのほか数多くの団体、地域で生活している個人もボランティアなどが包括されるものと想定しています。</p>
2 安全で快適なまちづくり			
資料1 -P2	策定委員会	<p>「安全な水の安定供給」の意図について、「安全で安定的に水道水を使用することができる。」という表現を「安全な水道水を安定的に使用することができる。」と変更した方が、日本語の表現としては明確で、正しいと思う。</p>	<p>指摘のとおり「安全な水道水を安定的に使用することができる」とする。</p>
3 豊かな心を育てるまちづくり			
資料1 -P3	総合計画等 審議会	<p>施策名の「豊かな感性を持つ幼児の育成」について、「感性」ではなく「情緒」の方が良いのではないかと</p>	<p>静岡県教育計画の基本方針で、「豊かな感性、確かな知性、健やかな心身の育成」を掲げてあり、また市の学校教育の重点として「豊かな感性」をあげている。今後も継続される表現と思われるので、「感性」のままとする。</p>
資料1 -P3	策定委員会	<p>「焼津らしい平和教育の推進」の意図が「平和を愛する心を持つ」では、当り前なこと焼津らしいとは言えないので、例えば「核兵器の廃絶を希求し平和を愛する心を持つ」にしたらどうか。</p>	<p>指摘のとおり「核兵器の廃絶を希求し平和を愛する心を持つ」とする。</p>
4 活力ある産業とにぎわいのあるまちづくり			
資料1 -P4	市民会議 (第6回会議以降の意見)	<p>1. 産業別に横列を農林業、水産業、商工業の3つになって居りますが”サービス業”を加えて欲しい。現今に於けるウェイトは30%近くあるのではないかとと思いますが、如何でしょうか</p> <p>2. 又、考え方として全ての業種に万べんなく対策を練る必要はあると思いますが、それ以外に柱となる大きなテーマを3つぐらいに絞って見たいと思います。焼津がこれだ！これが焼津だ！と云うものが欲しいので新規産業・新規商品・新規方式創出に研究機関が欲しい。 又、画期的なものを求める為には国、県の力を必要とし幾多の法的クイヤーが条件とならうから専門研究機関も欲しい。</p> <p>これらの事はランドデザインには欠かせない分野と思われる。 従来の延長線上の通り一べんの語りでは後退するのみと思われるので…。</p>	<p>1 ご意見中の「サービス業」の概念が判然としませんが、一般的な意味のサービス提供の業態については、商工業の中に入れて考えています。 3つの区分は、産業分類というわけではなく、様々な事業を、その内容の関連性が強い区分に含めて考えることとなります。 また今回は、サービス業のうち観光については、すべての区分に関連するものとして位置づけをしています。</p> <p>2 作業部会では、市民会議で取り上げていただいた「地域資源の有効活用・・・」ほかの項目について、事務事業において取り組むべきテーマとして位置づける方向で検討しております。</p> <p>なお、ご意見中の「専門研究機関の設置」については、現在県の機関として各分野ごとと技術研究所として設置されており、新商品開発などに取り組んでいるところですが、市独自の研究機関設置の必要性については、別途検討する必要があるものと考えます。 他の機関との調整や、法的な手続きまた総合的な設計や計画まで手掛ける専門研究機関が欲しいという、ご指摘ですが、一部は行政の役割と考えてもいい部分もありますので、その必要性については、市の行政組織の在り方とともに検討しなければならないものと考えます。</p>
5 人と自然が調和するまちづくり			
資料1 -P5	総合計画等 審議会	<p>施策名の「ごみの抑制と適切な処理」について、「ごみ」ではなく「廃棄物」の方が良いのではないかと。 廃棄物は家庭からのものと事業者からのものがあり、事業者からのものが割合は大きい。 また、廃棄物には産業廃棄物もあり、ごみとは違う。</p>	<p>施策名については、担当課では「廃棄物」と表記することが適正と思われるが、市民会議での意見や市民への分かり易さから、「ごみ」とした。 今回の市民会議において、「廃棄物」という言葉の定義や廃棄物の種類及び産業廃棄物、一般廃棄物等の解説、説明を行い、市民会議の方と表現についての意見交換を行い決定する。</p>
資料1 -P5	事務事業突合せ 点検指導会	<p>「省エネ生活の推進」の意図について、施策名並びに成果指標と対応させ、「省エネ活動に取り組む」とした方が良いのではないかと。</p>	<p>指摘のとおり「省エネ活動に取り組む」とする。</p>
6 市民と行政がともに創るまちづくり			
資料1 -P6	策定委員会	<p>「①市民参画の推進」と「②市民協働の推進」は、紛らわしくないか。市民が「違い」を理解できるか。</p>	<p>市民参画は審議会への参画など行政運営に参画するという意味で、協働は役割分担して対等の立場でそれぞれまちづくりをするというように違う考え方であるが、市民参画は協働の基礎であることから、「参画」と「協働」を統合し、「市民参画と協働の推進」とする。</p>
資料1 -P6	策定委員会	<p>「わかりやすい情報の発信による情報共有化の推進」について、行政としては、情報発信、収集を強化したいが、市民の求めるものは情報公開とわかりやすい情報であるから、市民の立場に立てば「わかりやすい情報の発信」でよいのでは。 市の立場も加えるなら、「情報共有化の推進」となるが、今日では共有化は当たり前ではないか。</p>	<p>「わかりやすい情報の発信による」は手段であり、目的は市民との情報の共有化であるので、施策は端的に「情報共有化の推進」とする。</p>
資料1 -P6	事務事業突合せ 点検指導会	<p>「持続可能で効果的・効率的な行政運営」について、「行政運営」と「財政運営」のそれぞれに対応する目的があるのではないかと。「効果的・効率的で健全な行政運営を行う」ということで抽象的にまとめられているため目的の明確化が必要</p>	<p>「行政運営」と「財政運営」の目的の明確化を図るため、「信頼される行政運営」と「健全な財政運営」の2つの施策に分割するものとする。</p>